市政に関する一般質問

今定例会では、２８名の議員が一般質問を行いました。

まちづくりや暮らしに関する制度など、市の行政・財政全般にわたって、事業の現在の状況、今後の方針について質問をし、必要に応じて市に対し意見や施策の提案をします。

質問をした議員が、その質問の中から一問を選び、掲載しています。

会派名　議員氏名

一般質問の表題　質問の順番

問　（質問の要約）

答　答弁者※（答弁の要約）

※印の付いた答弁は複数の答弁者の発言をまとめたものです。

質問　通告事項の要約

自由民主党　川目武彦　1

オーバーツーリズム

問　川越市内では観光客の増加による弊害が生じている。この解消のために計画を立てているのか。

答　産業観光部長　本市においても、特に蔵造りの町並み周辺への観光客の集中による交通渋滞や観光客の車道へのはみ出し、ごみの問題などが、最近、顕在化してきていると認識しているが、現時点では解消のための計画は策定していない。しかしながら、６月に立ち上げた庁内組織において観光客の増加に伴って発生する課題等の対応方策について検討を行うとともに、今年のゴールデンウィークで実施した、ごみへの対応や渋滞緩和対応等の実績を基に、対応策について考えていきたい。

質問　川越市の広報

質問　オーバーツーリズム

自由民主党　牛窪喜史　2

地域包括ケアシステム構築

問　２０２５年には65歳以上の割合が３人に１人となり、施設に入れない人が見込まれる。地域包括ケアシステムの構築が必要と思うが、考えを伺う。

答　福祉部長　いつまでもいきいきと暮らし続けられるよう、住まい・医療・介護・生活支援・介護予防が結び付き、地域で支える地域包括ケアシステムの構築の取り組みを行っている。人生１００年時代に向け、一人一人の高齢者の多様性を尊重し、活躍の場が広がることが期待される。高齢者自身や住民互助の力もさらに引き出し、さまざまな取り組みが連動して機能するよう地域包括ケアシステムの構築をさらに推進していく。

質問　小江戸川越マラソン

質問　川越少子化高齢化問題

自由民主党　中野敏浩　3

登下校の安全の確保

問　各学校が中心となり、地域ぐるみで登下校の安全対策に取り組んでいるが、今後、教育委員会として児童生徒の安全確保にどう取り組むのか。

答　学校教育部長　日常生活全般における安全確保のために、登下校指導に適切な意思決定ができ、実践的な能力や態度等の育成を目指す安全教育を重視し、自分の安全を自分自身で守れる児童生徒の育成がさらに必要である。今後も、危険箇所を改めて点検するとともに、保護者、地域住民への見守り活動の協力をこれまで以上に幅広く、積極的に依頼し、地域全体で守る体制を構築する。併せて、警察等の関係機関と交通安全・防犯教室等を実施していきたい。

質問　児童の登下校の安全

自由民主党　村山博紀　4

危険な交差点の安全確保を

問　通学路に当たる諏訪町地内・藤間諏訪神社坂下・高階南小付近の交差点について、事故件数ゼロを目指す本市の交通安全対策は。

答　市民部長　各交差点に対する交通安全対策については、注意喚起の路面表示や赤色等での交差点のカラー舗装、カーブミラーの設置などを実施している。交通安全対策は、一律に実施するのではなく、場所ごとの状況に応じた対策が重要であることから、交通事故状況などを勘案した上で、警察や道路管理者などの関係機関と協力し、検討していく。

質問　自治会と市の関わり方

質問　高階の交通安全対策

無所属　小林薫　5

（仮称）西公民館早期建設

問　中央公民館が老朽化し、分室が貸し出し停止となった現在、（仮称）西公民館を早期に建設すべきと思うが、どう考えているのか。

答　市長　（仮称）西公民館の建設については、地元自治会連合会第三支会を中心とした有識者による仮称川越市西公民館検討懇話会より、平成26年６月に建設候補地についての提言を受けており、第四次川越市総合計画実施計画に公民館施設整備の一つとして位置付け、調査研究している。今後は、地元自治会と協議の上、施設機能等の検討を進めていきたいと考えている。

質問　公民館の今後

質問　市長の政治姿勢